

平成 31 年 3 月 15 日

森町長 太田康雄 様

公立森町病院経営改革プラン評価委員会  
委員長 高橋 泰

### 森町病院事業経営改革プラン評価委員会意見書

森町病院事業経営改革プラン評価委員会において、平成 30 年度取り組み結果・評価及び平成 31 年度事業計画（案）について協議した結果、以下のとおり意見書として提出する。

評価総括：入院・外来ともに患者数は減少しており、診療報酬改定による単価の上昇はあったものの診療収入は減少している。しかし、地域の人口減少などの環境変化にもうまく対応し、医業費用の削減など適切な形で経営改善を着実に進めている。急性期病棟で受け入れる患者が減少していることから、次年度以降は中東遠医療圏における病病連携と機能分担を更に進めながら、当院の急性期病棟のあり方についても検討していく必要がある。今後も経営改革の基本的な方向性や取り組みについての検討を継続して頂きたい。

#### (1) 平成 30 年度 第 4 次経営改革プラン取組結果・評価について

入院医療：急性期病棟の患者数が減少しているが、現状では地域の救急患者の受け入れは必要である。地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟では、磐田市立総合病院、中東遠総合医療センターからの転院の連携を強化して欲しい。

外来医療：町内の人口減少に相関して外来患者数も減少しており、救急患者も全体的に減少している。専門性の高い疾患の治療が終わったあとの継続的な治療では家庭医療クリニックの役割が重要になる。

勤務体制：医師の働き方改革を推進し、深夜時間帯の受診制限が町民の理解も得られて実施出来たことは大変評価できる。

医業費用：経費削減にも継続して取り組んでおり、特に光熱水費（電気料）など大幅に削減出来ているのは評価できる。

#### (2) 平成 31 年度 事業計画(案)について

診療科別常勤医師数と年齢構成、高齢者の係数をかけた年齢階級別受診率や入院率の補正データの補足資料を提供してほしい。

入院医療：現状では地域密着の病院として急性期患者の受け入れは必要であるが、磐田市立総合病院や中東遠総合医療センターとの病病連携において、いつまで急性期病棟を開設するべきかは今後の検討課題である。

外来医療：町内の人口が減少していることから、外来患者は減少することが予測される。家庭医療クリニックの診療体制が充実してきているので、一日外来患者数 255 人が適正目標なのか判断が難しい。外来患者数については今後は家庭医療クリニックと総合的に評価していくべきではないか。

家庭医療：常勤医師、専攻医が増加し診療体制の充実により、実績も上がって来ており評価される。患者数、単価目標とも今年度実績からすれば控えめな数値であるのでもう少し高い目標設定しても良いと思われる。地域包括ケアシステムの取り組みにおいても機能を拡大し、更に地域住民に対する健康寿命の延伸にも攻めの姿勢で積極的に取り組んで頂きたい。

医師確保：整形外科、リハビリテーションの常勤医師の確保は課題であるので、方策を検討して取り組んで頂きたい。

在宅医療：訪問診療、訪問看護の需要は増加していくので対応を強化して頂きたい。

【日時】 平成 31 年 3 月 2 日（土）午後 2 時 00 分～午後 4 時 20 分

【場所】 家庭医療センター 会議室

【協議事項】

- (1) 平成 30 年度 第 4 次経営改革プラン取組結果・評価について
- (2) 平成 31 年度事業計画（案）について

【出席者】（五十音順、敬称略）

公立森町病院経営改革プラン評価委員会出席者名簿(敬称略)

	指 名	役職等	出欠
委員長	高橋 泰	国際医療福祉大学大学院教授	出席
委 員	小林利彦	浜松医科大学附属病院 医療福祉支援センター長	欠席
	山岡泰治	浜松医科大学特任教授	出席
	木村雅芳	静岡県西部保健所長	出席
	石坂恭一	磐周医師会長	欠席
	岩谷信行	森町医会代表	欠席
	川崎義夫	学識経験者	出席
	山本俊康	森町議会議長	出席
	高野一利	森町病院友の会代表	出席
	佐藤嘉彦	森町役場企画財政課長	出席
	村松成弘	森町役場保健福祉課長	出席
	中村昌樹	公立森町病院長	出席
	高田志郎	公立森町病院事務局長	出席

計 10 名